

タイキ共和国	☎01558(6)2111
ノシロ共和国	☎0185(52)2111
サンリクオオフナト共和国	☎0192(27)3111
サガミハラ共和国	☎042(754)1111
サク共和国	☎0267(62)2111
ウチノウラキモツキ共和国	☎0994(65)2511

## はやぶさの日特集

2010年6月13日、小惑星探査機「はやぶさ」は幾多の困難を乗り越えて地球に帰還しました。銀河連邦は「はやぶさ」の開発・運用に関わった人々の「あきらめない心」「努力する心」を伝えていこうと、6月13日を「はやぶさの日」に制定。銀河連邦では「はやぶさ」や宇宙にちなんだ各種イベントを開催しました。サガミハラ共和国では、宇宙クイズラリーや「はやぶさ」関連のプラネタリウム・全大周映画上映を行いました。また、市立小・中学校で、宇宙をイメージした「はやぶさ給食」を実施。サンリクオオフナト共和国においても市内保育園で「銀河連邦はやぶさランチ」を実施しました。ともに各共和国の選りすぐりの特産品を取り寄せて調理されました。



ウチノウラキモツキ共和国では、「はやぶさの日」のPR活動をJAXA宇宙科学資料館前で行い、「はやぶさ」にちなんだ豪華グッズが当たる抽選会を実施しました。各地で盛況のうちに「はやぶさの日」を迎えることができました。

## 油井宇宙飛行士長期滞在クルーに任命

国際宇宙ステーション (ISS) 第44次/第45次長期滞在クルーに任命された油井亀美也宇宙飛行士は、長野県出身で、サク共和国内の野沢北高校の出身です。その縁もあり、これまで母校である野沢北高校での講演や佐久市が行っている中学生海外研修での面会、懇談をしていただきました。油井宇宙飛行士は2015年5月からISSで長期滞在する予定で、初めての宇宙滞在の機会となります。フライトエンジニアとして、「きぼう」日本実験棟を含むISS各施設のシステム運用、日本および国際パートナーの科学実験をはじめとする宇宙環境の利用に重点をおいた活動などを行います。



©JAXA/NASA

## 5月

サク共和国 長野県佐久市

2日~5日 佐久バルーンフェスティバル2015

新佐久市誕生10周年を記念し、熱気球日本選手権を開催。バルーンが一緒に佐久の青空に舞い上がる様子は圧巻！係留体験搭乗やバイクトライアルなども楽しめます。



サガミハラ共和国 神奈川県相模原市

9日、10日 若葉まつり

2015年は、例年行われている市民桜まつりにかわり、若葉まつりが開催されます。市役所さくら通りを主会場に、市民の手づくりによる催し物や市民パレード、絵画コンテストなど盛りだくさんの内容でみなさんをお迎えます！



## 8月

サンリクオオフナト共和国 岩手県大船渡市

1日(予定)

三陸・大船渡夏まつり

真夏の夜を照らす花火大会のほか、市民道中踊りや海上七夕船巡航など見所満載です。



ノシロ共和国 秋田県能代市

1日、2日 のしろ銀河フェスティバル2015

「宇宙のまちなしろ」を感じてもらえる2日間です。今年は、モデルロケット1,000機同時打ち上げにチャレンジします！(1日打ち上げ、2日予備日)



## 9月

タイキ共和国 北海道大樹町

21日 柏林公園まつり

樹齢100年を超える柏の巨木が林立する柏林公園において、農産・畜産・水産を取り揃えた「柏林公園まつり」が開催されます。



## 10月

ウチノウラキモツキ共和国 鹿児島県肝付町

18日 高山やぶさめ祭

約900年の伝統を誇る、中学2年生の男子が射手を務める高山流鎗馬。これにあわせて「高山やぶさめ祭」が開催され、様々なイベントが催されます。



その他、銀河連邦物産展が行われますので、各共和国にお問い合わせください。(連絡先：1ページ右上)

# 打ち上げ成功! 頑張れ「はやぶさ2」!

幾多の困難を乗り越えて地球に帰還した小惑星探査機「はやぶさ」。その後継機である「はやぶさ2」が2014年12月3日、鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられました。銀河連邦各共和国ではパブリックビューイングを開催し、「はやぶさ2」の打ち上げとミッションの成功を応援しました。「はやぶさ2」のミッションは、小惑星「1999 JU3」に着陸し、内部の物質を地上に持ち帰ることで、太陽系の起源や進化、生命の起源の謎に迫ることができるかと期待されています。2018年にも小惑星に到達し、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に地球への帰還を目指します。



小惑星探査機「はやぶさ2」 イラスト：池下章裕



「はやぶさ2」打ち上げパブリックビューイングの様子(サガミハラ共和国)



「はやぶさ2」を搭載したH-II Aロケット26号機

## LINE UP 銀河連邦NEWS 第3号

- 打ち上げ成功! 頑張れ「はやぶさ2」! ★1
- 銀河連邦フォーラム2014開催 ..... ★2
- 銀河連邦各共和国からのお便り ..... ★3
- イベントカレンダー&トピックス ..... ★4



銀河連邦は昭和62年11月8日に、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の研究施設が縁で、4市2町が宇宙への夢とロマンを育むために交流を始めました。子どもたちの留学交流をはじめ、スポーツ交流や経済交流など「宇宙」をテーマに様々な交流事業を行い、友好を深めています。



# 銀河連邦フォーラム2014開催



## 「はやぶさ2」応援メッセージ贈呈!

2014年11月1日、銀河連邦サガミハラ共和国で開催した潤水都市さがみはらフェスタにおいて、「銀河連邦フォーラム2014」が行われました。フォーラムでは銀河連邦各国の首脳からJAXAの常田佐久宇宙科学研究所長へ「はやぶさ2」応援メッセージを贈呈しました。

## 篠原ともえさん × JAXA 吉川 真 ミッションマネージャー トークショー

天文を愛するタレントの篠原ともえさんとJAXAから吉川真「はやぶさ2」ミッションマネージャをお招きし、「はやぶさ2」プロジェクトや宇宙に関するトークショーを開催しました。同フェスタでは、開催2日間で18万人の来場者を記録し、今回の銀河連邦フォーラムにおいては多くの方にお越しいただきました。

**篠原ともえさん紹介**  
16歳で歌手デビューし、現在、タレント、衣装デザイナー、歌手、女優など、幅広く活動しています。近年では、学生時代の天文部の知識を生かし、プラネタリウムでの星空解説やライブを開催。2011年には、天文や宇宙の知識を問う「天文宇宙検定」3級に合格しました。



# 子ども留学交流 IN サガミハラ共和国



銀河連邦で毎年実施している子ども留学交流事業。2014年は8月1日から3日までの3日間、サガミハラ共和国で開催され、銀河連邦6共和国の子どもたち64名が集まりました。歓迎レセプションでの子どもたちによる各共和国紹介では、熱心に各共和国の地域や文化の特色を紹介し、聞いていた子どもたちも興味津々な様子でした。また、JAXA相模原キャンパスの施設見学などの宇宙体験や交流学習を通じて、宇宙への興味をさらに深めていました。初めて出会った仲間たちを前に緊張していた子どもたちも、打ち解けあって交流を深めていました。

# 銀河連邦各共和国からのお便り



## 大樹町宇宙交流センター「SORA」オープン!



2014年5月、航空宇宙関連の展示施設「大樹町宇宙交流センターSORA」がオープン。大樹町で実際に打ち上げられた実物の小型ロケットなどの展示や、ロケット発射時の音と映像を体験できるコーナーもあります。



## のしる銀河フェスティバル開催!!



2014年9月13・14日に「のしる銀河フェスティバル2014」を開催しました。3回目の開催となる今回は、「はやぶさ」が持ち帰った「小惑星イトカワ」の微粒子を特別展示したほか、「ノシロリオン」と秋田のヒーロー「超神ネイガー」とのコラボショーを実施し、好評を得ました。13日夜には第27回「おなごりフェスティバル」も同時開催され、大変盛り上がりしました。



## 大船渡市産業まつり 4年ぶりの開催



2014年10月25日、26日、東日本大震災の影響で開催を見合わせていた「大船渡市産業まつり」を4年ぶりに開催しました。旬のサンマの炭火焼き2,000尾が振舞われ、三陸の海や山の幸をはじめ、伝統工芸品などさまざまな物産の展示販売、応援企業によるブースなど盛りだくさんの内容で、2万人を超える来場者で賑わいました。銀河連邦共和国・友好都市物産展においては、各共和国の特産品が並べられ、各共和国の出展者が来場者とふれあいながら販売するなど活気にあふれていました。



## JR 淵野辺駅発車メロディが「銀河鉄道999」に



2014年6月13日の「はやぶさの日」にJAXA相模原キャンパスの玄関口であるJR 淵野辺駅の発車メロディが「銀河鉄道999」の曲になることを記念し、発車メロディの生演奏や銀河連邦ヒーロー握手会などお披露目イベントを開催しました。



## 臼田宇宙空間観測所 開設30周年記念講演会

臼田宇宙空間観測所が開設30周年を迎えたことから、2014年10月25日、JAXA主催による記念講演会が開催されました。「はやぶさ」の信号探索にも大きな役割を果たした臼田宇宙空間観測所は、1984年、国内最大の直径64mパラボラアンテナを有する施設として開設されました。記念講演会では、JAXA教授等が、建設地選定の状況や「はやぶさ」帰還についてのお話をされ、300名を超える来場者が聴き入りました。



## 宮原ロケット見学場が生まれ変わります!

宮原ロケット見学場は、唯一発射地点が望める場所として有名で、2013年9月のイプシロンロケット試験機打ち上げの際、来場者の抽選は27倍もの高倍率となりました。現在、イプシロンロケット2号機の打ち上げに向け、宮原ロケット見学場の拡張整備を行っています。完成後は、約5,000人が収容可能となり、三脚を立てるためのカメラスペースも設けられます。また、種子島が望める展望台も設置予定で、両方のロケット打ち上げを望める見学場として生まれ変わります。

